

# ASA 用の WSA WCCP の設定例

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[設定の概要](#)

[設定例](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco Web セキュリティ アプライアンス ( WSA ) を使用して Cisco 適応型セキュリティ アプライアンス ( ASA ) の Web Cache Communication Protocol ( WCCP ) を設定する方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Cisco WSA
- Cisco ASA
- WCCP
- 透過的なプロキシの導入

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco WSA バージョン 7.x
- Cisco ASA バージョン 8.x

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用されるすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。稼働中

のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

## 設定

ここでは、ASA の WCCP を設定します。

### 設定の概要

WSA で ASA の WCCP を設定するために入力するコマンドを、次に示します。

```
hostname(config)# wccp {web-cache | service_number} [redirect-list access_list]
[group-list access_list] [password password]
```

```
hostname(config)# wccp interface interface_name {web-cache | service_number}
redirect in
```

このコマンドのエントリの説明を次に示します。

- **service-number** : これは、サービス定義がキャッシュによって指定されることを意味するダイナミック サービス ID です。ダイナミック サービス番号は 0 ~ 255 の範囲で指定できます。web-cache キーワードで指定される Web キャッシュ サービスを含めて、許可される最大数は 256 です。
- **redirect-list** : これはオプションのエントリです。このサービスグループにリダイレクトされるトラフィックを制御するアクセスリストとともに使用します。access-list 引数は、アクセスリストを指定する 64 文字以下の文字列 (名前または番号) です。  
注: ASA ソフトウェア バージョン 8.1 以前では、redirect-list の TCP ポートは受け入れられません。ネットワーク アドレスだけが使用されます。
- **group-list** : これは、サービスグループへの参加を許可する Web キャッシュを決定するオプションのアクセスリスト エントリです。access-list 引数は、アクセスリストを指定する 64 文字以下の文字列 (名前または番号) です。
- **password** : これは、サービスグループから受信したメッセージに対して Message Digest 5 (MD5) 認証を指定するオプションのエントリです。認証で受け入れられなかったメッセージは廃棄されます。

注: 標準サービスは、TCP ポート 80 (HTTP) のトラフィックを代行受信するだけの Web キャッシュ (サービス ID 0) です。その他のカスタマイズされたサービスについては、90 ~ 97 のサービス ID を使用することを推奨します。

### 設定例

WSA を使用して ASA の WCCP を設定するには、次の手順を実行します。

1. デフォルトのサービスグループ web-cache を使用するため、次のコマンドを入力します。

```
wccp web-cache
wccp interface inside web-cache redirect in
```

2. HTTP および HTTPS トラフィックのリダイレクションでダイナミック サービスグループ ID を使用するため、次のコマンドを入力します。

```
wccp 90 redirect-list wccp-hosts group-list wccp-routers
```

3. WCCP セキュリティを使用するため、次のコマンドを入力します。

```
wccp 90 redirect-list wccp-hosts group-list wccp-routers password securewccp
```

4. 宛先 IP アドレスとして ASA に送信されたトラフィックを拒否し、WSA にリダイレクトするようにアクセス リストを設定できます。これは、トラフィックを複数の WSA にリダイレクトするように ASA を設定する場合に特に役立ちます。たとえば、次の IP アドレスが WSA に割り当てられたとします。

WSA1 の IP アドレス = 10.0.0.1  
WSA2 の IP アドレス = 10.0.0.2

トラフィックを拒否するようにアクセス リストを設定するには、次のコマンドを入力します。

```
access-list wccp-hosts extended deny tcp any host 10.0.0.1
access-list wccp-hosts extended deny tcp any host 10.0.0.2
```

5. HTTP トラフィックのリダイレクトを許可するため、次のコマンドを入力します。

```
access-list wccp-hosts extended permit tcp any any eq www
```

6. HTTPS トラフィックのリダイレクトを許可するため、次のコマンドを入力します。

```
access-list wccp-hosts extended permit tcp any any eq https
```

7. WCCP 通信への参加が許可される WSA を定義するため、次のコマンドを入力します。

```
access-list wccp-routers standard permit host 10.0.0.1
access-list wccp-routers standard permit host 10.0.0.2
```

8. redirect-list コマンドが受け入れられない場合は、拡張アクセス リストが必要になります。拡張アクセス リストを設定するには、次のコマンドを入力します。

```
access-list wccp-routers extended permit ip host 10.0.0.1 any
access-list wccp-routers extended permit ip host 10.0.0.2 any
```

9. 設定を適用するため、次のコマンドを入力します。

```
wccp interface inside 90 redirect in
```

**確認**

WCCP に関するグローバルな統計情報を表示するには、特権 EXEC モードで `show wccp` コマンドを入力します。

```
show wccp {web-cache | service-number}[detail | view]
show run | inc wccp
```

注: リダイレクトされるトラフィックのタイプ ( HTTP、HTTPS、FTP ) は、WSA の WCCP 設定によって定義されます。ASA は、`redirect-list` を使用してリダイレクトされるトラフィックだけをフィルタできます。

## トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

## 関連情報

- [WCCP を使用した Web キャッシュ サービスの設定](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)